

輸入貨物に見られるリスクの高い害虫

オーストラリアは、世界で深刻な問題になっている害虫や病原体の大半から比較的に守られています。検疫はこの状態を保つために役立っているのです。島大陸であるオーストラリアは、昔は何もしなくても大半の外国の害虫や病原体が侵入してくることはありませんでした。グローバルな貿易や旅行は、大きな利益をもたらす一方で、オーストラリアの農業やユニークな環境を破壊しかねない様々な種類の危険な害虫や病原体が侵入してくる可能性をもたらしました。検疫は、人と物の出入りをなるべく妨害しないようにしながら、オーストラリアの自然と経済的資産を守ることを目的に行われています。以下は、検疫規定が守られないと、オーストラリアの経済や環境に破滅的被害をもたらしかねない危険な害虫や病気の例です。

アフリカ・オオカタツムリ (Giant African snail)

最長20センチメートル、重さ1キロにまで成長するこの熱帯性カタツムリは原産地が東アフリカで、食物として新しい地域に故意に導入されました。天敵がほとんどいない地域では、アフリカ・オオカタツムリは豆類の作物や観賞植物、野菜の他、柑橘類やポポーなど大きな木の樹皮など、最高500種類の植物を冒します。



アフリカ・オオカタツムリは、空のコンテナや袋の中で卵やカタツムリとしてオーストラリアに侵入する可能性があります。また、卵の段階で土の中に含まれていたり、パッキング用の箱やパレットの下、輸送用コンテナや機械、車両、自転車の中や上に付着して入ってくることも考えられます。あるいは、飛行機の乗客がおみやげの貝や食べ物として持ってくる可能性もあります。

港で全輸入品を慎重に検査し、車両のスチーム処理、また必要な場合にはリスクの高い機械設備の消毒などを行うことで、このカタツムリの侵入はしばしば未然に防がれており、検疫によって、今のところこの害虫はオーストラリアに侵入していません。

[Top of page](#)

アジア・マイマイガ(Asian gypsy moth)

アジア・マイマイガは船、コンテナ、貨物に付着してオーストラリアに侵入する可能性があり、AQISは卵のかたまりや幼虫がいる可能性の高い船舶を検査します。このマイマイガは危険な害虫で、その幼虫は600種類もの木の葉を餌にします。オーストラリアでは発見されていませんが、他国では樹木に重大な被害を及ぼしています。



アジア・カミキリムシ(Asian longhorn beetle)

アジア・カミキリムシは、樹木に穴をあける森林の害虫で、広葉樹に深刻な被害をもたらす害虫です。このカミキリムシは、大半が広葉樹であるオーストラリアの1億5600万ヘクタールに及ぶ原生林を破壊する可能性があります。アジア・カミキリムシが侵入するルートとして最も可能性の高いのはアジアからの輸入木材や、パレットやパッキング材として使われた木材です。



アカマダラカツオブシムシ(Khapra beetle)

輸入農産物には、アカマダラカツオブシムシと呼ばれる害虫がついている可能性があります。このカツオブシムシが侵入すると、オーストラリアの穀物貯蔵業界に深刻な影響を及ぼし、我国は穀物輸出市場を失うことになりかねません。アカマダラカツオブシムシが台無しにしてしまう食料は驚くほど多く、豆、レンズ豆、干した果物、乾燥ココナッツ、スパケティ、麺、米、麦、小麦、ぬか、ごま、ウイキョウの実や、カーダモン、コリアンダ、クミンをはじめとする様々な香辛料などが被害を受けます。

輸送に関する厳しい事前条件を満たしていない限り、アカマダラカツオブシムシの発生する地域から吹きさらしで輸入された農産物で、害虫のつく可能性のあるものは、全て開けられ、検査を受けなければなりません。

[Top of page](#)

口蹄疫(Foot and mouth disease)

貨物やコンテナを汚す動物の肥料、血液、土、羽などは、オーストラリアの動物に深刻な病気をもたらしかねません。口蹄疫のウイルスは空気感染し、48時間内に家畜の群全体を感染させる威力があります。この伝染しやすい、双蹄の動物がかかる消耗性疾患は、オーストラリアでは100年以上発生していません。

オーストラリアが牛肉、羊肉、羊毛の輸出国として世界でも重要な位置を占めるようになった背景には、この国に口蹄疫が発生していないという事実があるのです。このウイルスは生きた動物に付着して侵入することもあれば、肉や肉製品、乳製品の中に含まれていることもあり、また衣類、髪、靴、土、骨、未処理の皮、機械などについてくることもあります。また、冷凍、冷蔵、あるいは凍結乾燥した食品内でも生き延びる威力があります。

ニューカッスル病(Newcastle disease)

ニューカッスル病は鳥の伝染病の中で最も危険な病気です。治療法はなく、死亡率は100パーセントに及ぶこともあります。貨物についた鳥の糞がこの病気の伝染経路となり得ます。この病気の中で最も死亡率の高いタイプはオーストラリアでは発生していませんが、多くの国で広がっています。



ニューカッスル病にかかった雌鳥

より詳しい情報はどこから？

AQISの検疫に関する輸入条件のデータベース、[ICON](#)をご利用頂ければ、オーストラリアへの輸入に伴う検疫面での条件について、知る必要があることは全て入手できます。



▲ TOP

[Top of page](#)

For more information contact Public Relations: pr@aqis.gov.au

Document prepared by Public Relations

URL: <http://www.aqis.gov.au/docs/language/fsporthitchja.pdf>

Last updated 1 March 2000

[Disclaimer](#) [Copyright](#) © 2000 Commonwealth of Australia [Privacy Statement](#)

[AQIS Home](#)